

エスカレーターを歩かないように呼びかける府理学療法士会と京阪電鉄の関係者ら(京都市東山区・京阪三条駅)



# 「立ち止まる」勇氣広がれ

## エスカレーターポスター 京阪・阪急も駅で掲示

エスカレーターで左右両側に立ち止まるよう呼びかける府理学療法士会独自の啓発ポスターを張り出す鉄道駅が増えている。ポスター制作3年目を迎えた今年、京都市交通局に加えて京阪電鉄や阪急電鉄も掲示を始めた。リハビリの専門職でつくる同会は、半身まひの人らは左右いずれ

れかの手すりではなく指をさえられないと指摘。横を歩かれることに恐怖を感じる人もいるため、片側を歩かないようマナー向上を訴える活動を展開している。

今年のポスターは、京都芸術大(左京区)の学生がキャッチコピーを考案。「実はひとり止まると、みんな止まる。東京、左側。これから、両側。」などと書いた



京都芸術大生がキャッチコピーを考えたポスターの一つ

5種類を作った。ポスターは昨年に続いて京都市営地下鉄が全31駅で掲示中。今年、京阪の府内全15駅、阪急の府内主要10駅でも張り出し、広がりを見せている。14日朝には京阪三条駅で、同会と京阪電鉄が共同で啓発活動を実施。通勤客らにティッシュを配り「エスカレーターのマナー向上にご協力を」と呼びかけた。(高橋道長)